

第25回「映画を語る会」開催報告



この会も早3年が経ちました。これからも宜しく願います。

今月の映画は、安楽死・尊厳死と言う重たいテーマでしたが、皆さまがそれぞれ真剣に受け止めていただいたようでした。

1. 日時及び場所 2023. 6.15. (木) 13:30—16:10 於・つくし野 C,C.ホール
2. 今月の映画 「終の信託」日本 2012年 (144分)
3. 参加人数 55名 (内女性36名)
4. アンケート結果—映画について 30名回答
 - ① 大変良かった 14名 ② 良かった 14名 ③ 普通 (まあまあ) 2名
 - ④ つまらなかった 0名 ⑤ 来なければよかった 0名
5. アンケート結果—ご意見・ご感想部— (一部)
 - ・前半は余りのらなかったが、後半は真剣に見ました。とても良い映画でした。次も期待します。
 - ・もっと明るい映画を観たいが、避けて通れぬ問題・・・と。安楽死問題は身につまされる問題で全て悪とされるのは残念。ただただ苦しみの中で生かされるのみで。検察官の誘導尋問に怒りを覚えた。
 - ・昔観た映画の再会でした。ジャンニ・ジッキの「わたしの好きなお父さん」に重ねられた。人の終への心の鼓動が何とも印象的です。来て良かったです。THANKS A LOT
 - ・人生の最後を考えさせられる内容でした。100年時代を生きるのも楽ではありません。終末期医療の難しさを学びました。
 - ・草刈民代の演技にもう少し深みが欲しかった。残念！人の生と死について改めて考えさせられた。「何のために生きるのか」・・・
 - ・日本の司法制度の稚拙さを痛感した。殺したか？Yes No の2通りの答えしか受け入れられない○と×しか受け入れられない検察のあり方、もっと深く深く本質は何かと整理する社会的能力と力をつけないといけないと思いました。
 - ・医者なんてやってられないと思いました。
 - ・私はこの映画をみて延命治療をしないとしました。
 - ・重い内容の映画でしたがこれから余命があまりない自分の問題として考えさせられました。日常的に家族にも「自分はどんな人生の終わりを迎えたいか」を伝えることが大事ですね。安楽死についても真面目に考えるきっかけを与えていただき有難うございました。
6. 予定・・・7月10日(月)(作品未定)、8月お休み、9月11日(月)